

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

| | | | |
|---------|------------------------------|------------|------------|
| 事業所番号 | 2277102113 | | |
| 法人名 | 医療法人 社団静隆会 | | |
| 事業所名 | グループホーム 市野の家 (1、2、3階 ユニット合同) | | |
| 所在地 | 静岡県浜松市東区市野町287-1 | | |
| 自己評価作成日 | 平成24年12月30日 | 評価結果市町村受理日 | 平成25年3月22日 |

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

| | |
|----------|---|
| 基本情報リンク先 | http://www.kaiokensaku.jp/22/index.php?action=kouhou_detail_2012_022_kami=true&jiyosyoCd=2277102113-00&PrefCd=22&VersionCd=022 |
|----------|---|

【評価機関概要(評価機関記入)】

| | |
|-------|---------------------|
| 評価機関名 | 有限会社システムデザイン研究所 |
| 所在地 | 静岡県葵区紺屋町5-8 マルシビル6階 |
| 訪問調査日 | 平成25年1月10日 |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

理念でもある【明るい笑顔 優しい対応 心のふれあいと家庭のぬくもりを大切に】を基に入居者様と職員が共同生活を共にする疑似家族として楽しく充実した日々を過ごして頂けるよう 精一杯支援させていただきます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

各種医療機関が点在するなか安心して囲まれるように事業所は存在しており、散歩途中の「寄ってきなよ」からのおすそ分けもあり、地域に溶け込んでいます。昨年3月着任の管理者はベテラン職員を立ててスムーズな運営が叶っています。自治会からの招待で敬老会の参加に繋がり、市担当とも長い付き合いのため協力関係は不変のものとなっています。好評であった職員の血廻し芸は殆どの職員がマスター利用者から大喝采を受けています。月1回はボランティアが唄やバイオリンなどで楽しませてくれていて、利用者は孫を可愛がるが如く接し、温かい交流は状態安定への手助けになっています。中学2校の体験学習は30名ほどの参加を得て、本年はどら焼きのおやつ作りに挑戦しました。将棋の相手をする生徒、ヒースポーズでの利用者の写真からは、いたわりの精神の芽生えが感じられます。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項目 | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 | 項目 | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 |
|---|---|--|---|
| 56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25) | ○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない | 63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19) | ○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない |
| 57 利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38) | ○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない | 64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20) | ○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない |
| 58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4) | ○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない |
| 59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 66 職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12) | ○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが ○ 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | ○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない |
| 62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|-------------------|-----|--|---|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I.理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | (1) | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | 市野の家の「明るい笑顔 優しい対応 家族のぬくもりと心のふれあいを大切に」という理念をいつも心において、入居者様や地域の方々との関わりを築いております。 | “利用者と仲良くなること、”職員も利用者と一緒に遊びたい、を旨として取り組んでいるため、理念の中の「明るい笑顔」「心のふれあい」が自然な形で出来あがっています。理念は常に立ち返る原点として位置づけられていて、指導の要となっています。 | |
| 2 | (2) | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している | 自治会に加入しております。敬老会やお祭りにも参加させて頂いております。 | 自治会に加入し、神社の祭りや敬老会にも招待されるなど交流が深まっています。敷地内での畑作業中には近所の人からの声掛けがあり、散歩時には立ち寄りおすそ分けがある関係ができています。中学2校の体験学習も定着化し30名ほどが参加しています。 | |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | 運営推進会議では、任意でご家族から介護の実体験を話して頂ける機会を設けており、地域の方々から「なかなか聞けない話だから参考になる」というお言葉を頂いております。そのお話をもとに職員の経験や専門知識をお話させて頂く事で実用的な対策・意見の交換をさせて頂いております | | |
| 4 | (3) | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | ご家族をはじめ、参加者の方々からの意見を頂きながら、サービス内容や運営状況の報告をさせて頂いておりますので、さまざまな事柄への新たな対策がうまれるいい機会となっております。 | 運営推進会議は自治会長、市職員、地域包括は同じ顔ぶれで、地域代表として元・民生委員、そして家族の参加も叶い2ヶ月毎に開かれています。敬老会への参加やAED講習会の発案も会議意見から出たもので、利用者本位のサービスに活かされてしています。 | |
| 5 | (4) | ○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる | 市担当者とは定期的に会ってお話をさせて頂いております。特に問題点への対策などは連携しながら実践しております。 | 運営推進会議には、市、地域包括の参加が毎回あり実務面での意見が挙がっています。市窓口には毎月出向いて案内や議事録も書面で届けています。担当者とは長い付き合いで種々の相談に乗ってもらえるなど密な関係ができています。介護相談員の訪問も毎月あります。 | |
| 6 | (5) | ○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 拘束ゼロを掲げておりますので、職員教育をはじめ日々の業務において絶対に拘束がないようにケアを行っております。 | 身体拘束ゼロ宣言をしていて、玄関施錠なく、徘徊の兆しをパターンで把握し見守りに対応しているため拘束ゼロが叶っています。法人研修で得た知識を内部研修で話し合い、理解し共有に繋がっています。職員間でスピーチロックなどにも注意し合える関係が出来てきています。 | |
| 7 | | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | さまざまなセミナーや講習会への参加経験をもとにして、施設長、各ユニットリーダー、サブリーダーが常に情報交換をし、職員の介護の質や虐待への理解向上に努めております。 | | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|-----|--|---|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | 成年後見人制度を必要とされる利用者様がいらっしゃる時は、説明させて頂くと共に相談機関への紹介もさせていただきます。 | | |
| 9 | | ○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | 契約時にはしっかりと説明をし、ご家族の疑問や不安が残らないように心掛けております。 | | |
| 10 | (6) | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 運営推進会議への参加人数も増え、皆さんから意見を頂ける機会も増えましたし、面会に来られた際には気兼ねなく意見を頂き改善した点はまたご報告させて頂いております。 | 家族からは、「(入所して)表情が変わった」「落ち着いてきた」との反響を得られています。運営推進会議への参加が増え、5名ほどになることもあるため、家族同士の連帯意識も芽生えています。家族との連携が深まるにつれ、利用者のかなり以前の生活も語られ、新たなサービスの実践に繋がっています。 | |
| 11 | (7) | ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | 定例会を月に一回行っております。又、個々に話をする機会を設け個性を生かせる業務を行えるように配慮しております。 | 定例会が月一回、また、ユニットカフェは毎日申し送り時にあり、職員の高定着率の賜物で意見交換が活発となっています。職員からの相談も頻回にあり、改善に繋がる意見も多く聞かれています。よく話を聞く管理者には言い易いため、風通しの良い職場環境ができています。 | |
| 12 | | ○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | 職員の実績や働きを代表に報告し、給与面でも反映されますのでやりがいにもつながっております。 | | |
| 13 | | ○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 教育に力を入れております。受験資格が必要な資格も時期をみて必ず取得していくように意識の向上に努めております。 | | |
| 14 | | ○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 同業者との繋がりを大切にし、頻繁に意見の交換をしております。 | | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------|-----|--|--|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | ○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 入居相談の時点から不安を解消するように努め、要望があればどのようにそれを実現させた生活リズムを作る事ができるかをご本人と一緒に考えております。 | | |
| 16 | | ○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | 常に連絡を取り合わせて頂ける関係を築き、遠慮なく意見を言って頂けるように、真摯にお話を聞かせて頂くよう努めております。 | | |
| 17 | | ○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | 本人やご家族が話したいことがある限り、時間をかけて意図をくみお話を伺わせて頂いております。その上でこちらが御協力できることはすべて提示させて頂いております。 | | |
| 18 | | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | 一日の生活の中で入居者様に助けて頂くことも多く、共同生活を共にしていく関係を築いています。 | | |
| 19 | | ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | 入居者様のケアをするだけでなく、ご家族のケアも大切だと職員一同考えているので、本人とご家族の絆を大切にしながら、出来ることを精一杯させて頂いております。 | | |
| 20 | (8) | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | 馴染みの方から連絡があった時には、職員から面会に来て頂けると嬉しいという旨を伝えていきます。 | 家族の了解のもと友人の訪問があります。自分の生家近くをドライブして懐かしむ利用者もいます。消息不明の娘さんに会いたいと切望していた利用者にも、事業所の努力で居場所が判明し、感激の再会が叶い大きなプレゼントになりました。 | |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | 個々の性格、症状を把握して職員が関係構築の邪魔にならないように配慮しております。 | | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------------------------------------|------|--|--|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | 退去時には、その後も御相談に乗らせて頂く事をお約束させて頂いております。 | | |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | (9) | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | センター方式を職員が理解し、ご本人・ご家族によく聞き取りをし、普段の暮らしぶりを観察してご意向の把握に努めております。 | 表情から意向を汲み取る工夫は記録に現れています。また、職員が施すネイルアートやメーキャップに大はしゃぎするというエピソードかたは、投げかけや関わりへの試みの努力が覗えます。 | |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | 入居相談時をはじめ、入居後もご本人のご意向を把握し、それまでの生活になるべく近い生活リズムで生活をして頂いております。 | | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | 常に生活を記録し細かな変化にも気づけるよう心がけております。 | | |
| 26 | (10) | ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | ケアプラン作成時には、ケアマネージャー・施設長・職員で会議を開き、普段からのご本人やご家族のご意向に添って計画を立てています。 | 職員、リーダー、ケアマネージャー、管理者でサービス会議を開き、ケアマネージャーと計画作成担当者がユニット毎のプランを作成し、管理者が最終チェックをしています。理解可能な利用者には説明し、家族了解には書面に対応しています。 | |
| 27 | | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 記録はもちろんのこと、普段からカンファレンスをくり返し日々のケアに反映しています。 | | |
| 28 | | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | デイサービスの利用・退去時の他施設のご紹介など、必要とされるニーズにお応えできるよう努めております。日々のケアの中でも買い物や趣味などを行える環境を整えております。 | | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|---|---|---|---|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 29 | | ○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | グループホームの主旨の一つでもある疑似家族をモットーにして、安全に気を配りながら散歩や地域行事への参加を行っております。 | | |
| 30 | (11) | ○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 往診・受診をして頂ける病院を選んでいただき、いつでも診察をして頂ける環境を整えています。 | 数名の利用者が以前からのかかりつけ医に家族対応で受診している他は、2つある協力医を利用しています。其々月1回の定期往診があり、1つの医療機関は24時間対応で、家族・利用者の安心に繋がっています。看護師の訪問も週2回あり、状態変化の把握に努めています。 | |
| 31 | | ○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している | 週に2日、同じ看護師に来院して頂く事で入居者様の身体的・精神的変化に気づけるようにし、医療的な観点からアドバイスをいただいております。 | | |
| 32 | | ○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 特に普段から近隣の医療機関とは良好な関係を築かせて頂いておりますので、入居者様の入院時にも密に連絡を取り合い、対応に遅れの出ないように情報交換をしております。 | | |
| 33 | (12) | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | 同グループに、重度化・終末期のケアの出来る施設がありますので大変満足頂いております。また当事業所においても、状況によりご本人やご家族のご意向に添い、ターミナルケアを行う事もあります。 | 重度化から看取りとなった事例により職員の理解と取組みも進みつつあります。法人本部が老健に移行したため、強い連携強化となって適切な状態での転所が可能になり、組織的なバックアップ体制が大きな安心感に繋がっています。今後も条件が整えば家族の意向に添っていきたいと考えています。 | |
| 34 | | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | 急変時・事故発生時の対応につきましては、職員をしっかりと教育しております。定期的にマニュアル内容を記憶しているか聞く事によりいつも緊張感を持たせております。 | | |
| 35 | (13) | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | マニュアルを用意し、年に2回の防災訓練を欠かさず行っております。 | 防災訓練は年2回あり、1回は消防署指導で行っています。日中の地震による発火想定や、同じ条件での夜間想定も行いました。経験を重ねているためスムーズな取り組みができています。水、お粥、乾パンなどの備蓄のほか、簡易トイレや防災ずきんを備えています。 | 防災訓練に近所の参加をお願いしていますが、まだ至っていないという事ですので、今後、施設内での心肺蘇生やAED使用訓練を近所に呼びかけるなどして、参加実現を期待します。 |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------------|------|--|---|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | (14) | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | 職員同士で話し合い、その方にとって過ごしやすい環境を整えと共に、それに伴ったプライバシーの保護、声かけの見直しを常に行っております。 | 月1回のリーダー会議で、プライバシーや尊厳について話し合い、各職種からの接遇マニュアルを参考にして取り組んでいるため、職員の向上が見られるようになりました。「さん」づけを基本としていますが「チャン」づけはその呼称しか反応しない利用者へのみ対応しています。 | |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | 認知症による判断能力の低下があっても、ご本人の意思を把握できるまでスピーチロックは決してしないよう心掛け、時間をかけて聞き取りをしております。 | | |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 職員は日により変化のご意向に合わせて、毎日その日のケアの仕方を変えて支援しております。 | | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | 毎日、ご本人に着たい洋服を選んでいただき、職員から何かを強要しないようにし、出来る限り自由なおしゃれをして頂いております。 | | |
| 40 | (15) | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている | 味はもちろんのこと、盛り付けにも気を配っております。ご本人のご意向に添って提供できるよう、嗜好調査も行っております。 | 毎この利用者が希望を表現するため、年1回の嗜好調査は献立作りに活かされています。月～土曜日は業者からの食材を使い、日曜日は希望を取り入れ職員が買い揃え調理しています。週1～2回のおやつ作りではホットケーキ、白玉ぜんざいなどで利用者と職員が協働を楽しんでいます。 | |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | お食事の摂取量を常に記録し、変化がないか気を配っております。又、個々のADLに合わせた支援も行っております。 | | |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | 口腔ケアを行う時間を設け、必要な方には支援しております。その際に、口腔内の状態の把握に努めております。 | | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|--|---|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 43 | (16) | ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている | 一人ひとりの排泄の習慣を把握し、支援の仕方を状態に合わせて柔軟に変化させ対応しております。 | 排泄チェック表でパターンを把握し声掛け誘導を行っているため、オムツにパットを併用していた利用者の、パットが不要になった改善例もあります。夜間の排泄誘導については安眠やプライバシーに配慮し、利用者に対して見守り誘導やパット交換など個別の介助を行っています。 | |
| 44 | | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | 看護師の指導のもと体調の変化に伴う食事や水分の摂取に工夫をしております。 | | |
| 45 | (17) | ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている | ご本人が入浴したい日に入りたいだけ入って頂けるよう、早い時間からご意向をお聞きし実行するようにしております。 | 男女1日ずつの交替で2日に1回の入浴が叶っていて、毎日の入浴希望にも対応しています。入浴時の全身観察は状態変化への気付き向上に繋がっています。入浴拒否者にはタイムラグを利用しての声掛けで成功しています。足拭きは個別のタオルで感染症予防に備えています。 | |
| 46 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | 生活リズムを正しくして頂く支援に努めると共に、夕方に向けて照明を暗くしていったり、時間に合った声かけを行うようにしております。 | | |
| 47 | | ○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 服薬状況を常に把握していく為に、記録に目を通し、与薬の際には少なくとも3人の職員が確認をしております。 | | |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | 入居前までの生活を把握し、ケアプラン作成時には個々に合った支援ができるよう計画を立てております。家事に役割分担をして頂いたり、好きなテレビを一緒に観て会話をするなど、個々に合わせた支援を行っております。 | | |
| 49 | (18) | ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している | 年に2度の遠足をはじめ、普段の生活の中でも嗜好品の買い物や散歩などご意向に添った外出をして頂いております。 | おやつや服の買物に職員を指名して出掛けています。支払いも自分でレジを通るなどの、自立支援ができています。利用者の希望で散歩や外出が叶っていて、敷地内の畑にも頻回に出掛け日光浴ができています。花見と森林公園、花鳥園など、近場の楽しい遠足にも取り組んでいます。 | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|--|--|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 50 | | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | 買い物に出かけた際にはご本人に支払いをして頂いております。 | | |
| 51 | | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | 手紙・電話共にいつでもご自由に書いたり使用して頂ける環境を整えております。 | | |
| 52 | (19) | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 毎日掃除を欠かさず行っております。又、掲示物に季節感を取り入れて1~2か月ごとに新しい掲示物に変えております。 | テーブル上は鉢植えの花でデコレートされ、季節の掲示物には福祉体験で来た中学生との交流風景の写真があり、利用者の表情が楽しさを物語っています。職員と一緒に朝掃除と換気は日課となっていて、清潔な1日の始まりになっています。 | |
| 53 | | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | 個々に居心地の良い場所がある為、気の合った入居者様同士で過ごして頂ける環境を整えたり、お1人で過ごしたい入居者様にはそのような環境を整えたりして支援をさせて頂いております。 | | |
| 54 | (20) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 入居前に使っていてもものを使って頂き、居心地よく過ごしていただけるように努めています。 | カーテン、ベッド、エアコン、洗面台、押し入れが備え付けてあり、テレビ、衣装ケース、基礎化粧品、ハーモニカ、編み物、ビーズ刺繍など思い思いの馴染みのものが持ち込まれています。過ごしやすそうに整理整頓された、すっきりした部屋が出来あがっています。 | |
| 55 | | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | センター方式を使用し課題分析し、ひとりひとりの出来ること、出来ないことの把握に努め、よりよい環境を作れるように考えております。 | | |